

寄付 温かい善意ありがとうございます

●みどり野行政区から寄付

みどり野行政区(廣瀬隆司区長)では文化祭での収益金を牛久市社会福祉協議会へ毎年寄付しています。11月26日、みどり野区の廣瀬区長と小野寺治子さんが市役所を訪れ、収益金5万円を牛久市社会福祉協議会へ寄付しました。この寄付金は、地域福祉推進のために使われます。



●30回目の歳末助け合い托鉢

牛久市佛教会による托鉢行脚が12月4日、市内で行われました。この「歳末助け合い托鉢」は毎年欠かさず行われ、今年で30回目を迎えました。多くの市民から寄せられた善意の募金262,754円は、牛久市社会福祉協議会を通じて、低所得者の支援や地域の見守り活動に使われます。



平和の集い

戦後70年
今、平和を考える

「平和の集い」が中央生涯学習センターで11月28日に開催されました。当日は、牛久市平和使節団(市内の中学生)25人が、昨年夏に市内在住の戦争体験者への訪問で感じたことや、広島市訪問などを発表しました。

また、ジャーナリストの江川紹子さんの講演会も行われ、「混迷の時代を生きる“命の重さ”」と題して講演。平和について改めて考える一日となりました。



牛久市平和使節団の発表

牛久市国際交流協会 冬の交流会

牛久で育む異文化交流

牛久市日本語教室の「冬の交流会」が12月5日、三日月橋生涯学習センターで行われ、外国人学習者や日本語教室ボランティアなどの方たちで賑わいました。

会場のステージでは、歌や踊り、日本語習得の成果などが発表されました。また、さまざまな国の料理が持ち寄られ、抹茶を楽しむコーナーを設けるなど、食文化の交流も楽しみ、終始和やかに会が進みました。



学習者とボランティアによる歌の発表

秋の叙勲

受章おめでとうございます

「秋の叙勲」と警察官や消防士などの業務に長年従事した人をたたえる「危険業務従事者叙勲」が発表されました。牛久市では15人の方が受章しました。

おめでとうございます。

※掲載の許可をいただいた方のみ掲載しています。

●平成27年 秋の叙勲

瑞宝小綬賞

櫻井 義宏

(元特許庁審判部首席審判長)

矢口 孝

(元公立高等学校長)

●第25回 危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

櫻田 幸侖

(元警視庁警部)

佐々木勝年

(元警視庁警部)

佐藤 剛

(元警視庁警部)

高橋 啓二

(元警視庁警部)

畑田大三郎

(元警視庁警視)

瑞宝単光章

青木 幸雄

(元警視庁警視)

大木 政徳

(元東京消防庁消防司令)

齋藤 五郎

(元東京消防庁消防司令)

和知 武

(元千葉県警部補)



日本の茶席も好評でした

年末の暖かいひととき

12月5日、上町行政区(渡部昭八朗区長)の上町区民会館で「第6回ふれあいサロン餅つき大会」が開催されました。晴天の中、子ども会と地域の方たち約120人が集まり、餅つきや昔の遊び、ビンゴなどで楽しく交流しました。

毎年参加している小学生は、「私にとって、餅つきができるのはここだけ。毎年楽しみにしている」と話していました。



餅つき体験を楽しみに、子どもたちが列に並びました

子どもたちから街を明るく

12月5日、牛久市役所会議室で「交通安全、防犯ポスター・標語、社会を明るくする運動作文コンクール表彰式」が行われました。

表彰式では、力作に「市長賞」、「警察署長賞」などが贈られました。今回表彰された作品は、ポスターやカレンダーなどにして、交通安全や防犯などの啓発活動に使われる予定です。



多くの作品のなかから選ばれ、表彰状を受け取る子どもたち

牛久の芸術に長年貢献

「茨城県芸術祭」の授賞式が、11月21日に茨城県近代美術館(水戸市)で開かれ、牛久市文化協会会長の中村一雄さんが、文化芸術振興に貢献したとして茨城県から表彰を受けました。

中村さんは、牛久市文化協会会長として長年にわたり、文化芸術活動に貢献。牛久市では個人として初めての表彰となりました。



中村さんは市役所を表敬訪問し、根本市長もお祝いを述べました

花で心を豊かに！ふれあい美化市民の会

心豊かな潤いのある活気に満ちた「美しい地域づくり街づくり」を目指して、市内24団体と幼稚園・小学校・中学校が一体となり毎年積極的に活動しています。今年度の「牛久市花いっぱい運動コンクール」と、大好きいばらき県民会議主催の「花と緑の環境美化コンクール」の審査結果を発表します。

◆「第43回花と緑の環境美化コンクール」審査結果

賞名	部門	団体名
茨城県教育委員会教育長賞	フラワーロードの部	かみや緑の里親元気クラブ
大好きいばらき県民会議理事長賞	団体・職場の部	牛久地区婦人会

◆「第26回牛久市花いっぱい運動コンクール」審査結果

賞名	部門	学校名
会長賞	ロード・地域 団体の部	中根小学校
特別賞	ロード・地域 団体の部	神谷小学校
努力賞	ロード・地域 団体の部	牛久第一中学校
	ロード・地域 団体の部	第一幼稚園、向台小学校
	ロード・地域 団体の部	ひたち野うしく小学校 牛久第二中学校
敢闘賞	ロード・地域 団体の部	奥野小学校
	ロード・地域 団体の部	

税制改正に関する提言

(一社)竜ヶ崎法人会牛久地区会(海老原賢会長)から根本洋治市長に「平成28年度税制改正に関する提言」が、11月18日手渡されました。

提言書では、グローバル競争とそれがもたらす所得格差など、社会の大きな構造変化のなかでも、中小企業の活性化を図る税制措置などを提言しました。



学校給食「和食の日」始まる

いい にほんしょく
11月24日は「だし」で味わう給食の日

11月24日を“いい日本食”「和食の日」に制定されているのに合わせ、同日、市内の小中学校、幼稚園、保育園で、学校給食「和食の日」の第1回目が行われました。和食の日では、「だし」を味わい、日本の食文化への興味を喚起することを目的に、各校でオリジナルの献立を提供します。下根中学校では、キノコご飯、サバのゴマ味噌焼き、ヒジ



1

キ煮、五目汁が並びました。

同校栄養士の今村栄子さんは、「だしでうま味を引き出した結果、昨年より調味料の使用量が減った。味への満足感を保ちつつ塩分を減らすことができたと思う」と話し、生徒たちも「いつもと味は違うが、おいしさは変わらない」とうれしそうに食べていました。

この日、市内の生産農家の方たちも給食に招かれ、自分たちが作った野菜を食べる生徒たちと楽しそうに歓談していました。

- 1 生産者(写真一番右)と給食を楽しむ生徒たち
- 2 うま味たっぷりの和食メニュー



2

女化芸術活動推進協議会主催

女化秋祭り
～芸術祭・収穫祭～

女化青年研修所で12月11日、12日、「女化秋祭り～芸術祭・収穫祭～」が開催されました。会場では、「餅つき体験」や地域にゆかりのあるキツネに変身できる「キツネのメイク体験」など楽しい企画が催されました。また、地元で収穫されたさつまいもを、もみ殻を使って焼き芋にした「焼き芋体験コーナー」なども設けられ、来場者にとって地域の自然と味覚を堪能する一日となりました。



キツネのメイク体験楽しかったよ

牛久産小麦「ゆめかおり」のおやつ
体も心もほっころの
「すいとん」

11月11日のつつじが丘保育園のおやつは「ゆめかおりすいとん」でした。このすいとんは、平成26年2月のスローフードコンテストのレシピで作られました。牛久産小麦ゆめかおりのすいとんと、栄養たっぷりの具材が、かつおだしの旨みで、味わいある一品となりました。



園児たちは、「もちもちしてる」、「おいしい!」と大喜び

奥野っ子ステージ

英語で発表、その成果は？

奥野小学校で11月20日、「Let's Try! 輝け奥野のステージで」とのタイトルで、学習成果発表会「奥野っ子ステージ」が開催されました。同校は文部科学省の委託事業「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校推進事業」の指定を受け、小規模校を存続させる場合の教育活動の一環として実施されたものです。

この日、1年生から6年生の全学年で英語を取り入れた歌や発表が行われ、5年生は「わたしたちの宝物」である奥野の自然の貴重さや、ごみ問題などを海外からも学ぼうと、オーストラリ

アのオレンジ市の交流校とテレビ電話を使い、情報交換をした様子を発表していました。村上司さん(5年生)は「牛を食べるために飼っているという話にびっくりした」と話し、山岡真緒さん(6年生)は「外国人にも、自分からあいさつできる積極性がついた」と語ってくれました。





牛久産ぶどうワインレガメ発売

2年目のワイン「レガメ」

牛久産ぶどう100%のワインが好調な売れ行きをみせています。このワインの生産販売は2年目を迎え、



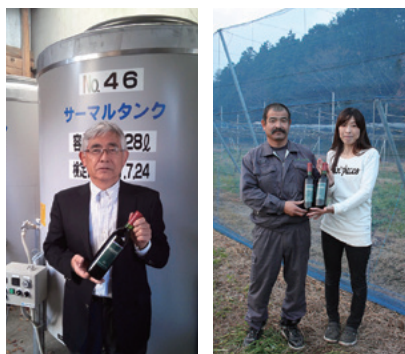
昨年12月17日からうしくグリーンファーム株式会社で販売されています。

この赤ワインは、醸造を依頼した^{ひやましゅぞう}檜山酒造のある姉妹都市の常陸太田市と、世界的にワインで有名な友好都市イタリア グレーヴェ・イン・キアンティ市との絆が永遠に続くようにとの願いを込めて「レガメ」(イタリア語で絆の意)と命名されました。

かつてはぶどう畑が広がり、セレブリティが集ってワインを楽しんだ牛久。レガメを飲みながら、牛久の歴史に思いを馳せてみませんか？

価格は2,000円(税込)で、限定1,500本。完売次第終了となりますので、お買い求めはお早めに。

問 うしくグリーンファーム(株)
(久野町1496-1 ☎875-1333)



檜山酒造の檜山社長(写真左)とうしくグリーンファームの社員

第10回ブリアントヴィルうしく

牛久の夜を彩って10年

12月5日、約12万球のLEDで牛久駅周辺を彩る「ブリアントヴィルうしく」の点灯式が行われました。牛久駅周辺の活性化を目的に始まり、今回で10回目。今回の電飾は「ひかりの森」をテーマに、牛久現代美術展出品作家の方々が製作し、牛久市知的障害者デイサービス「わくわく」の通所者の方々にも協力していただきました。

イルミネーションは、2月14日までの毎日、午後5時から午前1時まで点灯しています。



式典の前後にはミニコンサートが行われました。写真は牛久第一中学校混声合唱団による合唱

地元作家・市民・行政による美術展

「第21回うしく現代美術展」 —あーとのチカラ—

11月22日から12月6日にかけて、中央生涯学習センターで「『第21回うしく現代美術展』—あーとのチカラ—」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

関連行事として開催された「小中学校鑑賞会」では、子どもたちが作家とじかに触れ合い、交流することができました。また、奥野小学校では、「学校移動美術展」も行われました。



「小中学校鑑賞会」で、作家の説明を熱心に聞く子どもたち

第6回うしく菊まつり新品種の名決定

牛久の花「菊」 新品種の名前が決まりました

昨年11月に開催した「第6回うしく菊まつり」の会場で園芸家の上村遙氏による新品種の菊が3種類発表され、名称を募集しました。応募総数は107通に上り、その中から以下の名称に決定しました。



うしく
牛久のほほえみ

命名者
おおくししずえ
大串静江さん(牛久市)



うしく はつゆき
牛久の初雪

命名者
むらいひさお
村井久雄さん(牛久市)
おおくぼ
大久保まことさん(牛久市)



シャトルージュ

命名者
むらかみやすひろ
村上泰宏さん(牛久市)

牛久の野菜がキャラクターになりました

「USHIKU野菜オーケストラ」が誕生しました！



「USHIKU野菜オーケストラ」とは、牛久市で生産量の多い野菜を15種類^{※1}集め、キャラクターとしたものです。市民のみなさんが、野菜に興味をもって、もっと野菜を好きになってもらえるように、野菜の栄養や特長を楽しく学べるように、という「ねがい」を込めて、牛久市栄養士部会^{※2}が企画しました。

「野菜キャラクター」一人ひとりの持つ「栄養素」というすてきな音が重なり合えば、「健康なからだ」をすばらしい音楽として奏でることができます。毎日の食事の中で、かわいい野菜キャラクターたちを楽しく覚えてください。

「USHIKU野菜オーケストラ」の詳しい情報については、牛久市ホームページの健康づくり推進課トップページをご覧ください。各野菜キャラクターの名前・性格・特長・栄養素などを掲載しています。

※1 2010年世界農林業センサスデータより。

※2 牛久市栄養士部会とは、保育園、小中学校、保健センターの栄養士です。



「USHIKU野菜オーケストラ」キャラクター制作にご協力いただいた皆さん

11月15日、「第4回みんなのしあわせ見本市」開会セレモニーにおいて、キャラクターのデザイン制作者である牛久市在住Kanaoさん(写真前列一番左)に感謝状を、各野菜キャラクターに名前をつけてくれた小学生、中学生、保育園児の皆さんに記念品を贈呈しました。ご協力ありがとうございました。



牛久市はスローフードを応援しています。



再生紙、環境に優しい植物油インキを使用しています。

1160号

2016年1月1日号
平成28年1月1日発行

発行・編集 牛久市市民活動課
〒300-1292
茨城県牛久市中央3丁目15番地1

TEL 029-873-2111
HP <http://www.city.ushiku.lg.jp/>
FAX 029-873-2401